科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
公衆衛生看護学概論Ⅰ	２年次　前期	必修	講義	１単位（１５時間）	佐藤　美恵子※

授　業　概　要

公衆衛生看護は地域で生活するあらゆる健康レベルの個人・家族・集団と組織を含むコミュニティ（地域）を対象とし、人々の健康と生活を守り増進させることを目指す看護活動であることを学ぶ。
また、公衆衛生看護の歴史から、公衆衛生看護活動が社会的背景と深く結びついていることを学ぶ。更に、人々の健康に影響する社会的背景・要因と今日的な健康課題について考える。

到　達　目　標

１．公衆衛生看護の定義、理念・目的について理解する。
２．公衆衛生看護の基盤となる概念について述べる。
２．公衆衛生看護の対象と場の種類と特性について述べる。
３．公衆衛生看護の歴史をその時代背景とともに理解する。
４．社会環境の変化が及ぼす健康への影響と今日的健康課題について述べる。

実務経験のある教員

佐藤美恵子：市町村での現場経験を踏まえて、公衆衛生看護の理念・目的、基盤となる概念、対象と活動の場、社会環境の変化と健康課題および歴史について概説する。

回	学　習　内　容	担当教員
1-5	１．公衆衛生看護の定義 ２．公衆衛生看護の理念・目的 ３．公衆衛生看護の基盤となる概念 ４．公衆衛生看護の対象と活動の場 １）公衆衛生看護の対象 ①個人・家族、集団、組織、地域（コミュニティ） ②「コミュニティ」とは ２）公衆衛生看護活動の場と特性 ５．公衆衛生看護の歴史 日本および諸外国の公衆衛生看護の変遷	佐藤美恵子※
6 7,8	６．社会環境の変化と今日的な健康課題 １）社会情勢の変遷 ２）生活・環境要因による健康への影響 ３）今日的健康課題	

学　習　方　法

講義　グループワーク

評　価　方　法

〔評価方法〕
科目修了試験

先　修　科　目

なし

教科書、参考書

〔教科書〕
公衆衛生看護学.ｊｐ　荒賀直子　インターメディカル
公衆衛生がみえる　医療情報科学研究所　メディックメディア